

KW Version Upgrade Tool 操作マニュアル

目次

1 章 はじめに	2
2 章 USBドライバのインストール	4
3 章 KW Version Upgrade Tool の設定	6
4 章 ファームウェア更新手順	8
4.1 パソコンと対象機器を USB、または RS485 で接続して下さい。	8
4.2 更新するエコパワーメータをファームウェア更新モードにします。	8
4.3 KW Version Upgrade Tool でファームウェアの更新をします。	10
5 章 Web コンテンツ更新手順	21
6 章 その他	24
6.1 動作環境	24
6.2 使用上のご注意	24

1章 はじめに

KW Version Upgrade Tool は、パソコンと KW2G エコパワーメータ基本ユニット(スタンダード)、KW2G-H エコパワーメータ基本ユニット(SD カード対応タイプ)、KW2G エコパワーメータ増設ユニット、KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000)、KW9M エコパワーメータ、KW2M エコパワーメータを LAN ケーブル、USB ケーブル、または RS485 通信で接続することで、エコパワーメータのファームウェアや Web コンテンツを更新することができるソフトウェアです。

- * KW2G シリーズをバージョン更新の際には、基本ユニットが必要です。
- * KW2G は、USB ケーブル接続、KW1M-R は、RS485 通信での接続です。
- * KW9M は、USB ケーブル接続、または RS485 通信での接続から選択できます。
- * KW2M は、LAN ケーブル接続のみでの接続です。
- * ファームウェア、Web コンテンツ更新の際は、最新バージョンの KW Version Upgrade Tool をご使用ください。

・ファームウェアファイルの拡張子は、以下の通りです

機 種	拡張子
・KW2G エコパワーメータ基本ユニット(スタンダードタイプ) ・KW2G-H エコパワーメータ基本ユニット(SD カード対応タイプ) ・KW2G エコパワーメータ増設ユニット	.kw2
・KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000)	.kwco
・KW9M エコパワーメータ	.kw9

Web コンテンツファイルの拡張子は、以下の通りです

機 種	拡張子
・KW2M エコパワーメータ	.2mw

- ・ファームウェアと Web コンテンツの最新ファイルは、当社ホームページよりダウンロードできます。
- ・KW Version Upgrade Tool をバージョンアップする場合は、インストール前に旧バージョンをアンインストールしてください。
- ・ファームウェア、Web コンテンツが更新されても、エコパワーメータの設定値、計測値などは消去されませんので、更新後、再設定の必要はありません。
- ・ファームウェア、Web コンテンツ更新中は、エコパワーメータやパソコンの電源を落とさないでください。

更新に必要なもの

- ・パソコン:Windows 8(*1) / 8.1(*1) / 10(*1)
- ・USB ケーブル:USB2.0 規格 MiniB タイプ
 - *1 Program Files フォルダの下にお客様で作成されたファイルを保存した場合、実物のファイルは/userID/AppData/Local/VirtualStore フォルダに自動的に保存されます。(ただし、ユーザアカウントコントロール(UAC)が有効になっている場合)



ご注意

KW2M の Web コンテンツを更新する場合は、「.net framework 4.0」がインストールされている必要があります。

「.net framework 4.0」はマイクロソフトホームページよりダウンロードしてください。

■免責事項

- ・弊社は、本ソフトウェアに対していかなる保証もいたしません。
- ・弊社は、本ソフトウェアの使用または、動作から発生する直接損害・間接損害・波及的損害・結果的損害、または特別損害についても一切の責任を負いません。
- ・弊社は、本ソフトウェアの使用・転載、および配布に関しては、特に制限をいたしません。
ただし、転載・配布する際に、メディア代等以上の手数料を徴収したり使用に制限を付けることはこれを禁じます。

2章 USBドライバのインストール

パソコンと、KW2G または KW9M エコパワーメータの通信のためには、USB ドライバをインストールする必要があります。

(KW2G 用 USB ドライバ:KW2G_USB.inf KW9M 用 USB ドライバ:kw9musb_v100.inf)

* いったん USB ドライバのインストールを行うと、2 度目以降は、インストールの必要はありません。

* ポートを変更した時は、再度ドライバをインストールしてください。

* ご使用の OS の手順に従ってインストールしてください。

* KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000)は、USB 経由でバージョンアップすることはできません。

①KW2G または KW9M の電源を入れ、USB ケーブルで KW2G または KW9M とパソコンを接続します。

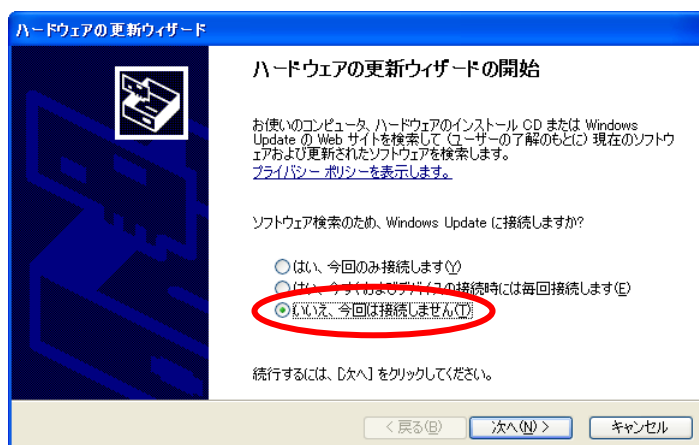


ご注意

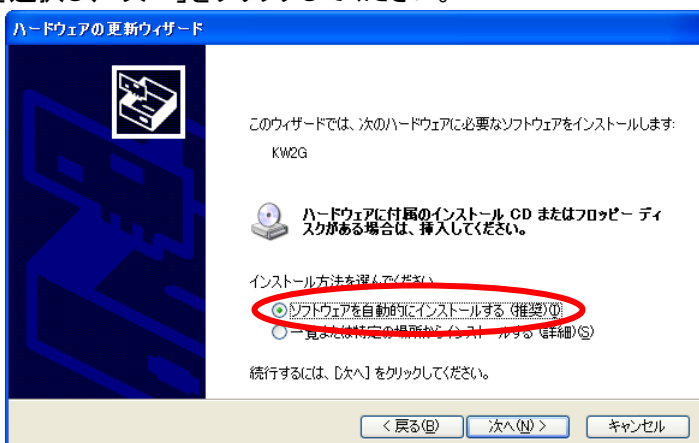
USB ハブを経由して接続する場合、USB ハブを複数段で接続しないでください。

②「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。

「いいえ、今回は接続しません」を選択し「次へ」をクリックしてください。



③「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



* USBドライバ(KW2G_USB.inf と、kw9musb_v100.inf)は、KW Version Upgrade Tool をインストールすると、同時に保存されます。

Program Files → Panasonic-EW SUNX Control → KW Version Upgrade Tool → KW2G_USB、KW9M_USB フォルダ内に保存されていますので、自動的にインストールされない場合は、選択してインストールしてください。

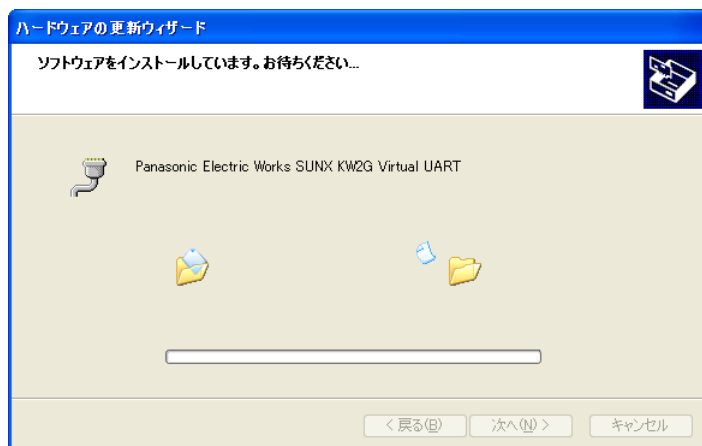
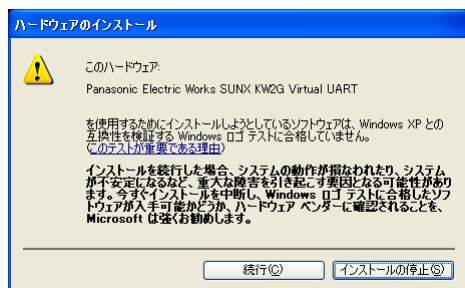


ご注意

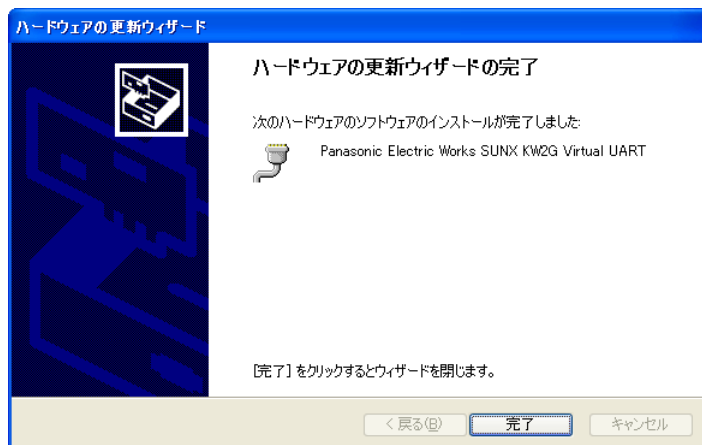
- ・Windows 8 / 8.1 / 10 使用時に、ユーザアカウントコントロール(UAC)が有効の場合、実物のファイルは/userID/AppData/Local/VirtualStore フォルダ配下に自動的に保存されますのでご注意ください。

④ソフトウェアのインストールが開始します。

インストール中にエラー画面が表示される場合がありますが、「続行」をクリックしてインストールを続行してください。



⑤「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されると、ドライバのインストールは完了です。「完了」をクリックして、ウィザードを終了してください。



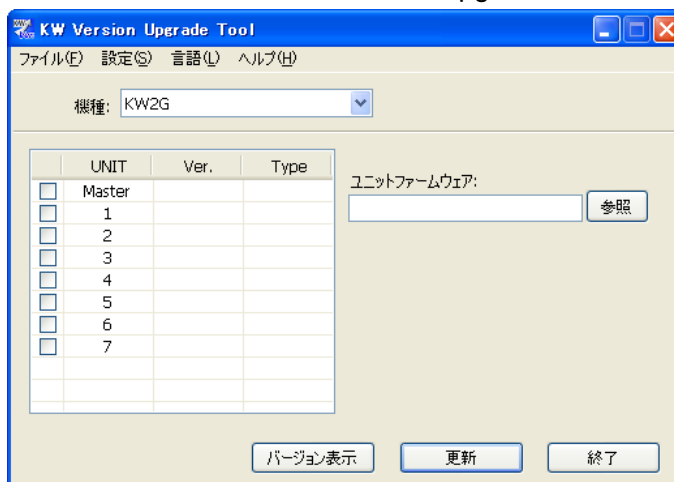
3章 KW Version Upgrade Tool の設定

スタートメニューから

「すべてのプログラム(P)」 → 「Panasonic-EW SUNX Control」 → 「KW Version Upgrade Tool」をクリックしてください。

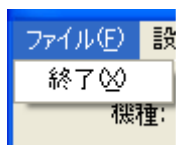
KW Version Upgrade Tool が起動します。

[通信設定]画面で、使用するポートとタイムアウトを設定してください。



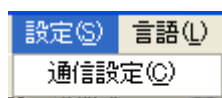
【各ボタンの動作】

ファイル



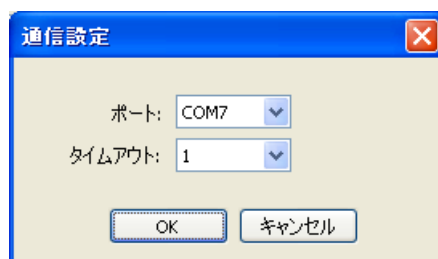
[終了] — ソフトウェアを終了します。

設定



[通信設定] — 通信設定画面を開きます

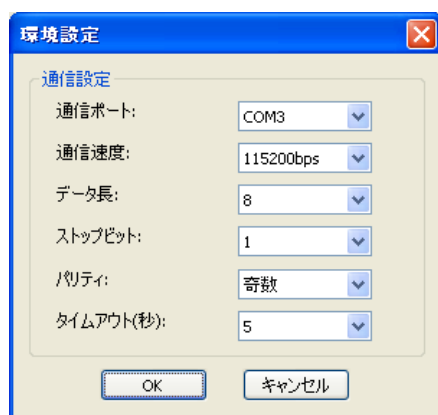
選択機種によって、通信設定内容が切り替わります。



【KW2G の場合】

使用するポートとタイムアウト時間を設定します。

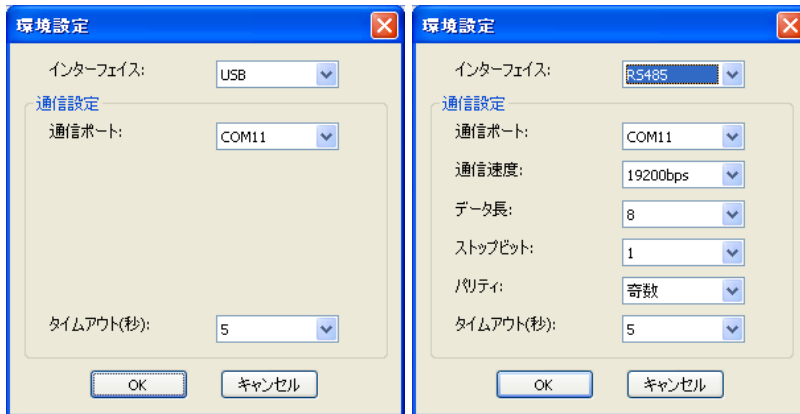
ポートは自動で表示しますので、異なる場合は設定をしてください。



【KW1M-R の場合】

使用する通信ポート
各種通信設定
タイムアウト時間を
設定します。

ポートは自動で表示しますので、異なる場合は設定をしてください。



【KW9M の場合】

接続するインターフェースを設定してください。
インターフェース設定に応じた通信設定が表示されます。

ポートは自動で表示しますので、異なる場合は設定をしてください。

* RS485 接続の場合、本体の設定に関わらず通信設定を下記にしてください。

通信設定 : 19200bps

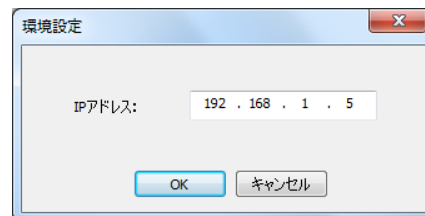
データ長 : 8

ストップビット : 1

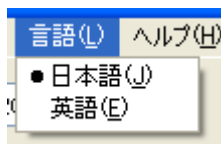
パリティ : 奇数

【KW2M の場合】

使用する IP アドレスを設定します。

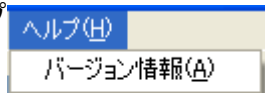


言語



表示言語を選択します。

ヘルプ



[バージョン情報] — バージョン情報を表示します。

4章 ファームウェア更新手順

4.1 パソコンと対象機器を USB、または RS485 で接続して下さい。

* RS485 で接続する際は、(株)ラインアイ社製の SI-35、SI-35USB を推奨します。



ご注意

USB ハブを経由して接続する場合、USB ハブを複数段で接続しないでください。

4.2 更新するエコパワーメータをファームウェア更新モードにします。

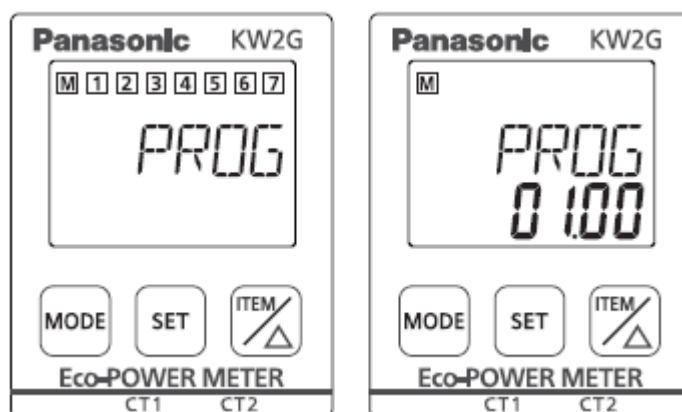
下記に従い、エコパワーメータを「PROG」にします。

[KW2G エコパワーメータの場合]

- 1) KW2G エコパワーメータ基本ユニット(増設ユニット接続でも可)の電源を OFF します。
- 2) KW2G エコパワーメータ基本ユニットの<MODE>キー、<SET>キー、<ITEM/▲>キー3 つを同時押ししながら、電源を投入します。

エコパワーメータの画面にユニット番号と上段に「PROG」が表示されたら、キーを離してください。
ユニット番号[M]と上段に[PROG]、
下段に現在のバージョン「xx.xx」が表示されます。

これでエコパワーメータのファームウェア更新の準備ができました。

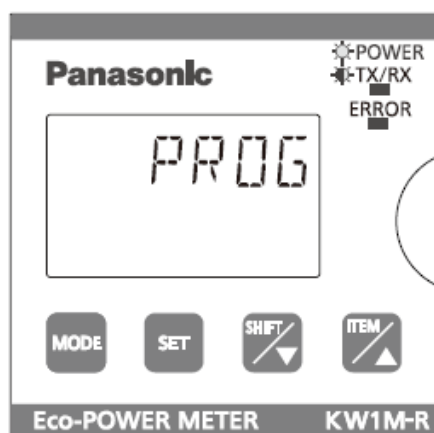


[KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000)の場合]

- 1) KW1M-R エコパワーメータの電源を OFF します。
- 2) KW1M-R エコパワーメータの<MODE>キー、<SHIFT/▼>キー、<ITEM/▲>キーの 3 つを同時押ししながら、電源を投入します。

エコパワーメータの上段に[PROG]が表示されます。

これでエコパワーメータのファームウェア更新の準備ができました。



[KW9M エコパワーメータの場合]

- 1) KW9M エコパワーメータの<MODE>キー、
<ITEM/△>キーを同時に 10 秒以上押します。
- 2) パスワード入力画面が表示されますので、
パスワードを入力してください。

エコパワーメータの

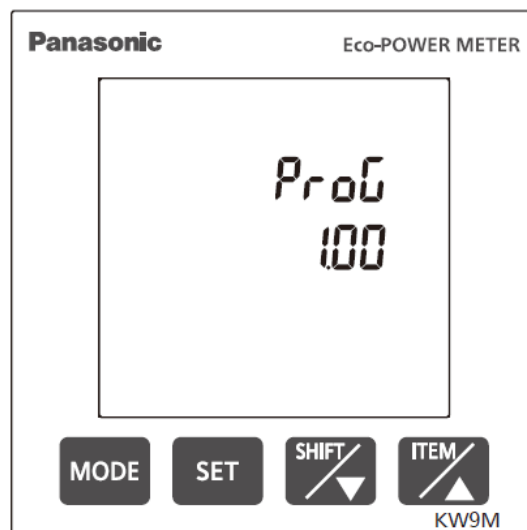
上段に[PROG] 中段に現在のバージョン「x.xx」が
表示されます。

これでエコパワーメータのファームウェア
更新の準備ができました。



ご注意

RS485 通信を使用してファームウェアを更新する場合、ファームウェアの更新は 1 台ずつ行ってください。
複数台の KW9M をファームウェア更新モードへ移行した状態でファームウェアの更新を行うとエラーとなり
正常にファームウェアの更新ができません。

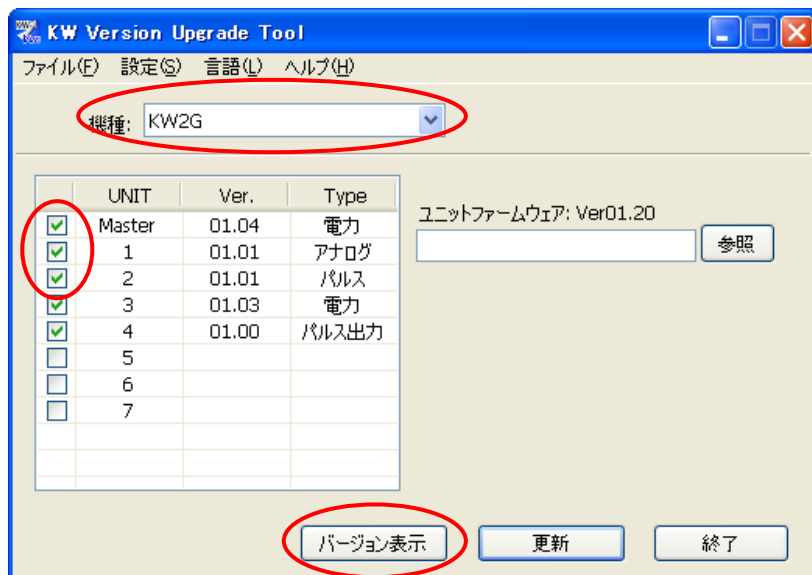


4.3 KW Version Upgrade Tool でファームウェアの更新をします。

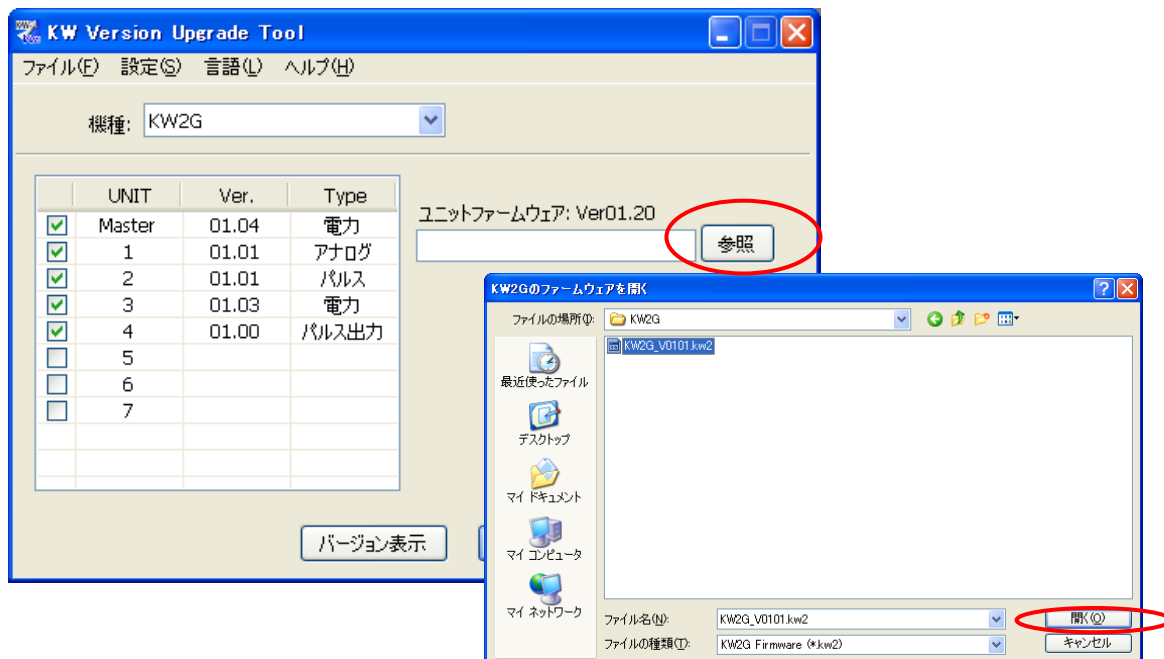
①KW Version Upgrade Tool を起動します。

[KW2G エコパワーメータの場合]

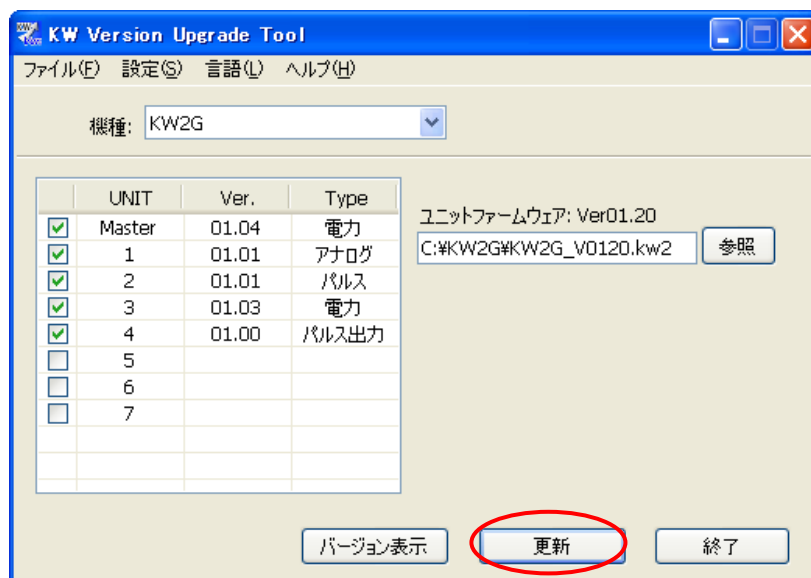
- 機種選択にて、「KW2G」を選択してください。KW2G 用の画面に切り替わります。
- 「バージョン表示」をクリックすると、接続されているユニットの現在のバージョンが表示されます。
ファームウェアを更新したいユニット番号にチェックを入れてください。



- 「参照」をクリックすると、ファームウェアを開くウィンドウが現れます。
更新したいファイル「kw2gverxxx_verup.kw2」を選択し「開く」をクリックしてください。
* ファームウェアの最新ファイルは、当社ホームページよりダウンロードできます。

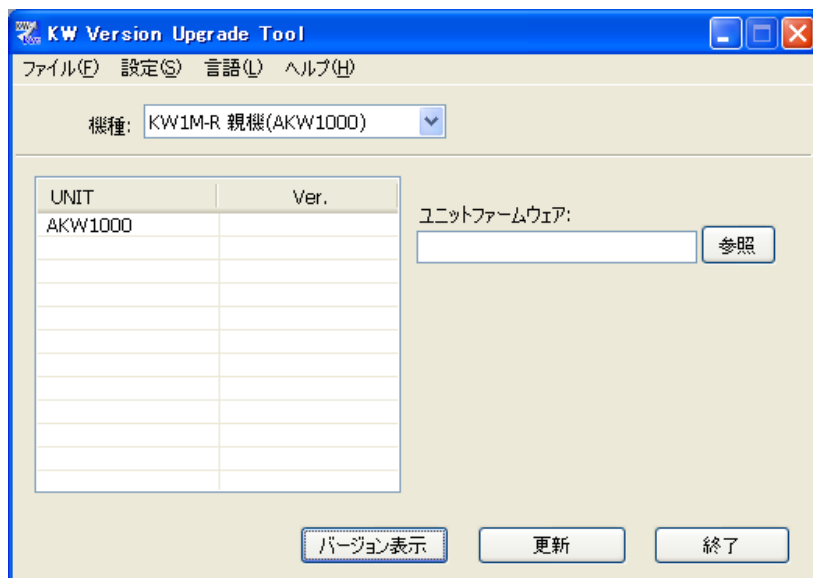


4) 選択したファイル名が表示されますので、「更新」をクリックしてください。

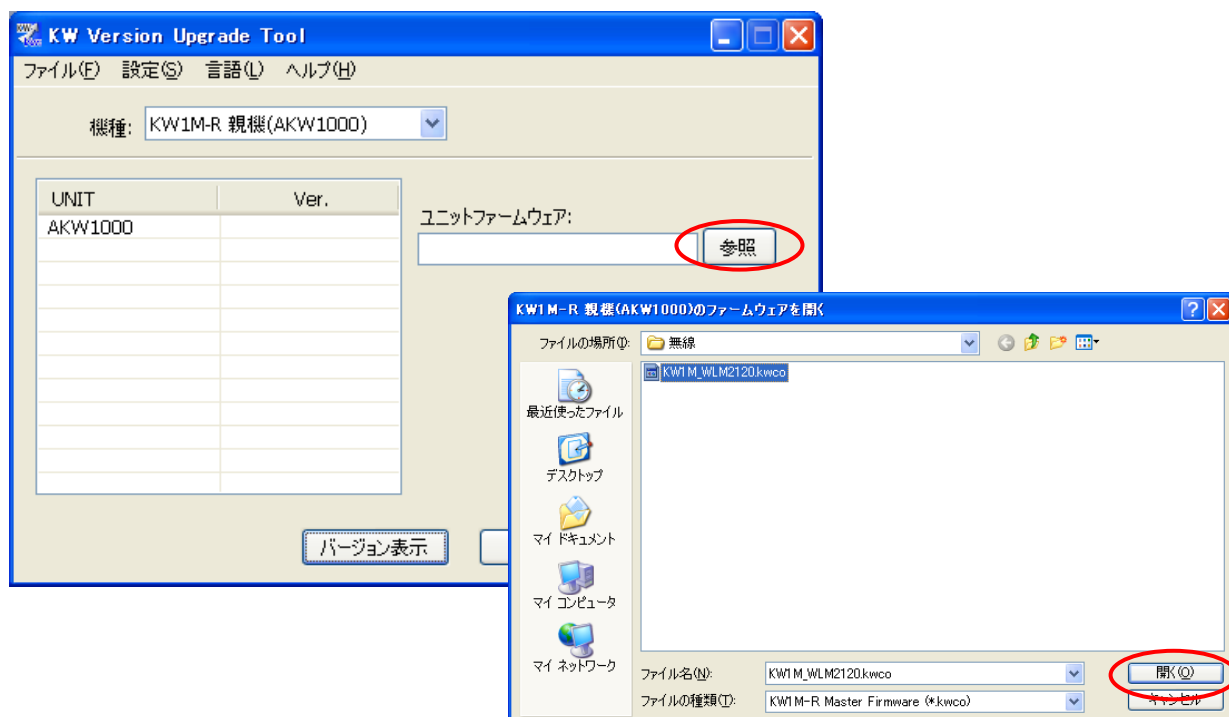


[KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000)の場合]

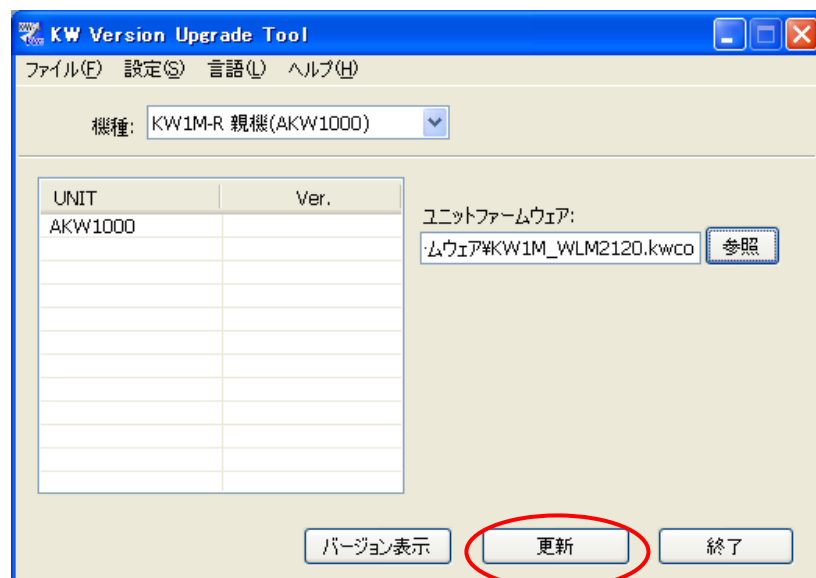
1)機種選択にて、「KW1M-R 親機(AKW1000)」を選択してください。KW1M-R 用の画面に切り替わります。



- 2) 「参照」をクリックすると、ファームウェアを開くウィンドウが現れます。
更新したいファイル「KW1M_WLM_XXXX.kwco」を選択し「開く」をクリックしてください。
* ファームウェアの最新ファイルは、当社ホームページよりダウンロードできます。

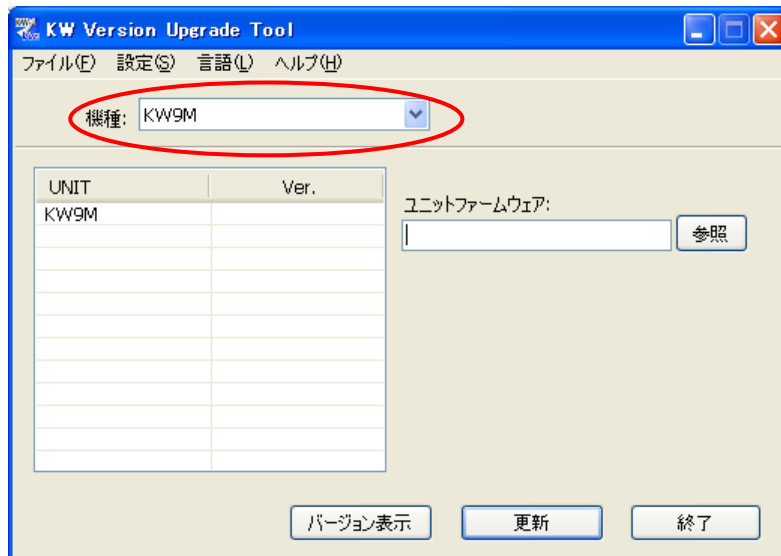


- 3) 選択したファイル名が表示されますので、「更新」をクリックしてください。



[KW9M エコパワーメータの場合]

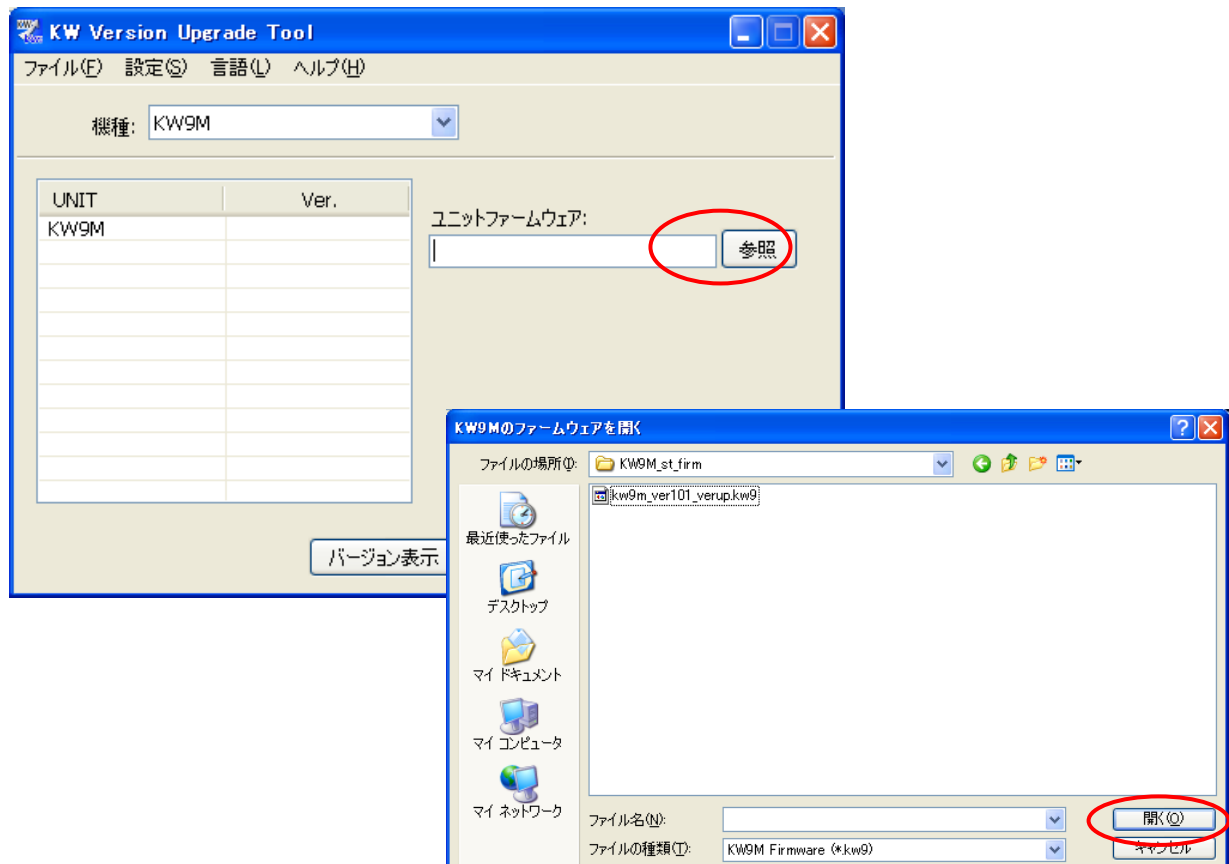
1)機種選択にて、「KW9M」を選択してください。KW9M 用の画面に切り替わります。



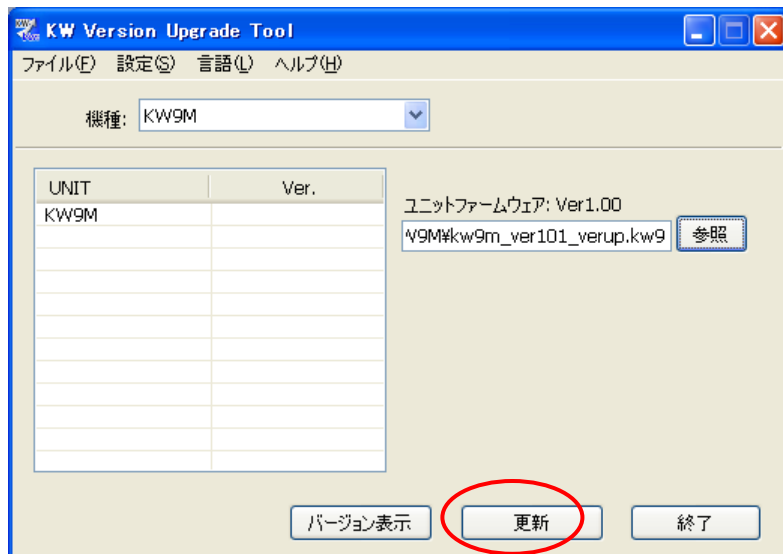
2)「参照」をクリックすると、ファームウェアを開くウィンドウが現れます。

更新したいファイル「kw9m_verxxx_verup.kw9」を選択し「開く」をクリックしてください。

* ファームウェアの最新ファイルは、当社ホームページよりダウンロードできます。

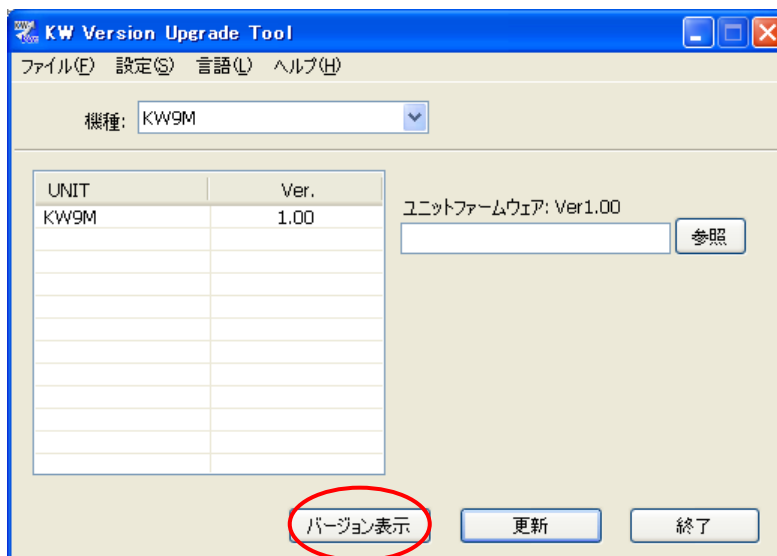


3) 選択したファイル名が表示されますので、「更新」をクリックしてください。



「バージョン表示」をクリックすると、接続されているエコパワーメータの現在のバージョンが表示されます。

いったんバージョンを表示した後は、更新をする必要がなくても手順③以降の更新作業を実施してください。実施しないと、エコパワーメータは使用できません。



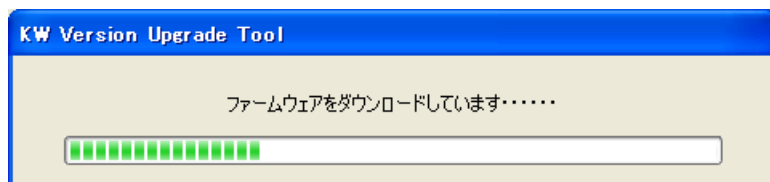
- ②「更新」ボタンをクリックすると、バージョンアップ処理を行います。
 エコパワーメータのファームウェアが、選択したファームウェアと同じか、新しいバージョンの場合、スキップするかどうかの確認画面が現れます。
 ファームウェアの更新をしない場合は、「はい」をクリックして終了してください。



KW Version Upgrade Tool を 2 回目以降に起動すると、前回更新したファームウェアが表示されています。前回更新したファームウェアが移動されている場合などは、エラー画面が現れます。ファームウェアを再度選択して更新を実施してください。

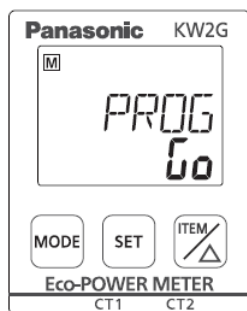


- ③更新が始まると、インジケータが出現し、新しいファームウェアへ更新します。

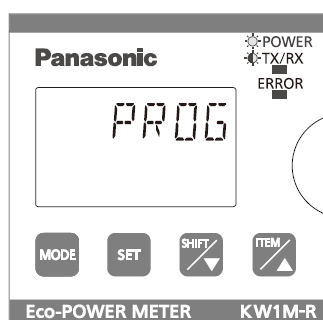


更新中はエコパワーメータの電源は絶対に切らないでください。

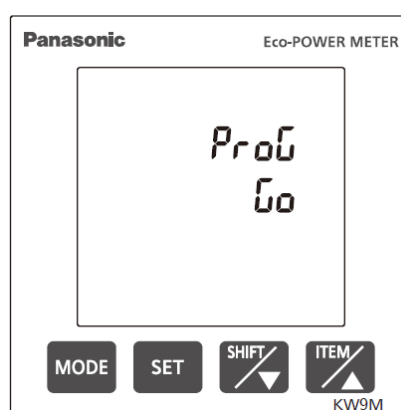
〔KW2G 画面表示〕



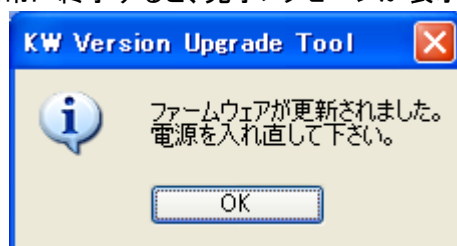
〔KW1M-R 画面表示〕



〔KW9M 画面表示〕

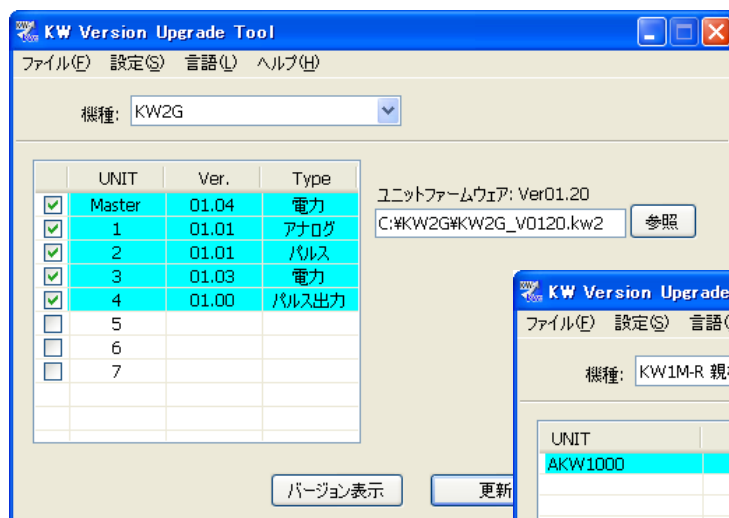


- ④ファームウェアの更新が、正常に終了すると、完了メッセージが表示されます。
「OK」をクリックしてください。

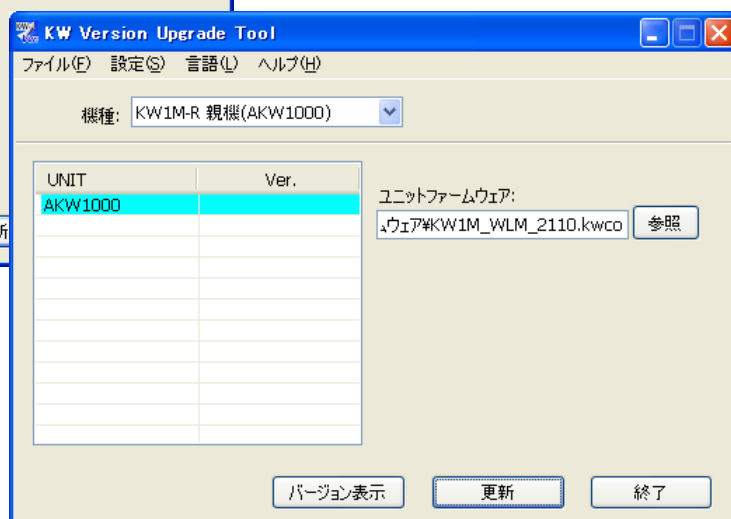


- ⑤ファームウェアが正しく更新されたユニットはセルが青色です。
また、エコパワーメータの表示でも更新の確認ができます。

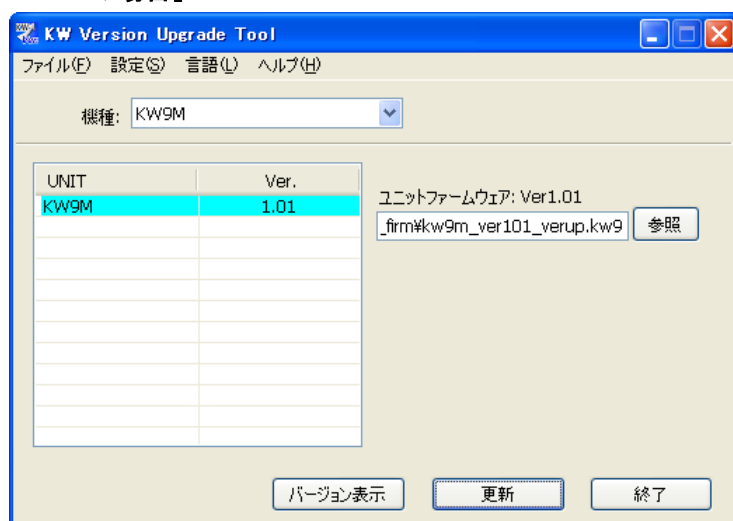
[KW2G の場合]



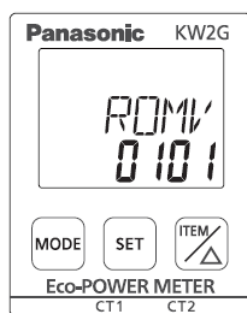
[KW1M-R の場合]



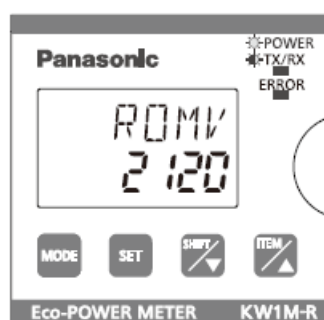
[KW9M の場合]



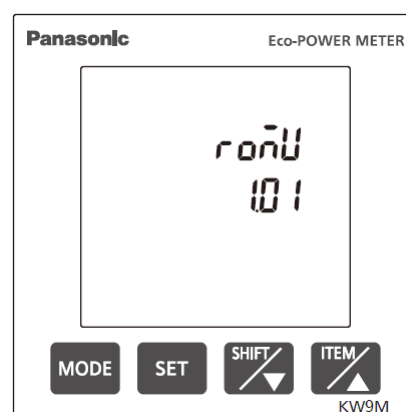
〔KW2G 画面表示〕



〔KW1M-R 画面表示〕



〔KW9M 画面表示〕



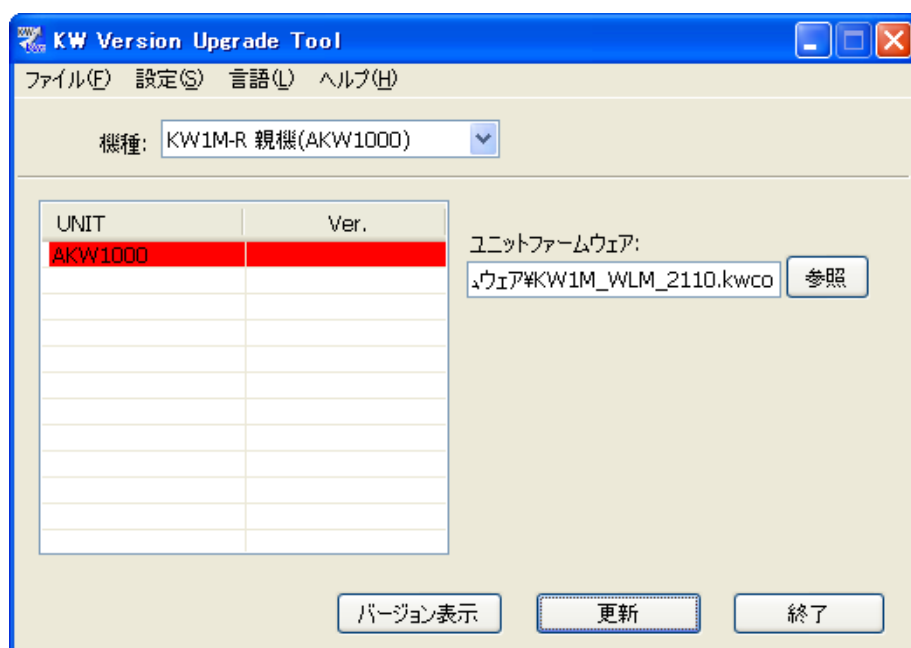
〔ファームウェア更新が正常に終了しなかった場合〕

ダウンロード完了後、ファームウェアの更新が未処理のユニットはセルが黄色、失敗したユニットはセルが赤色になります。

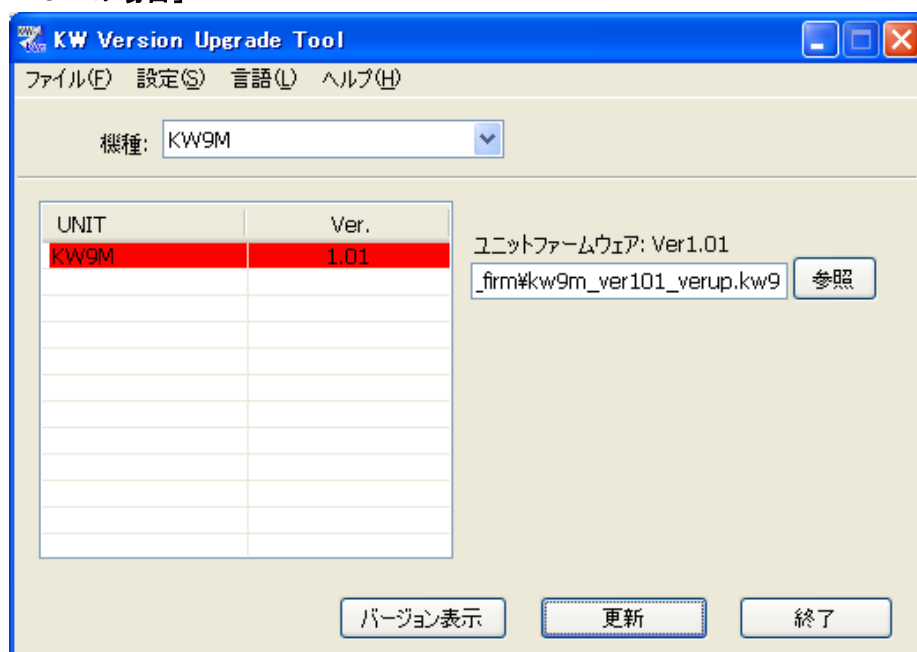
〔KW2G の場合〕



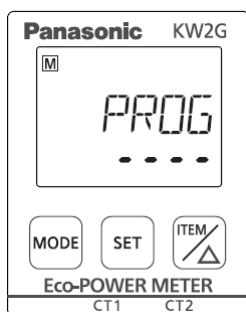
[KW1M-R の場合]



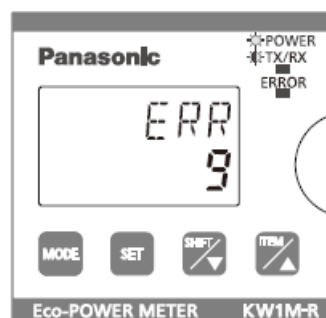
[KW9M の場合]



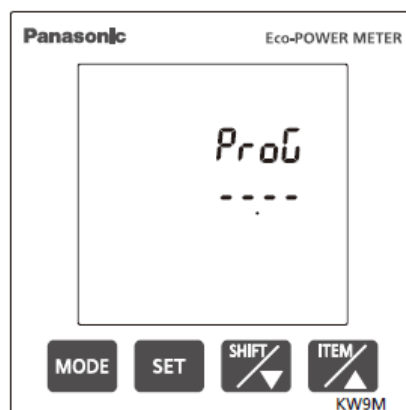
〔KW2G 画面表示〕



〔KW1M-R 画面表示〕



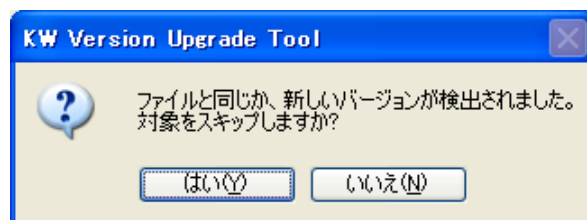
〔KW9M 画面表示〕



エコパワーメータの画面には、上記が表示されます。

エコパワーメータの配線などの確認をして、再度更新作業を実施してください。

更新が失敗したエコパワーメータを再度更新する場合、「更新」をクリックすると、下記の画面が表示される場合があります。この場合は、「いいえ」を選択し、更新を実施してください。



⑥「終了」をクリックして KW Version Upgrade Tool を終了してください。

エコパワーメータは電源を再投入すると、使用できる状態になります。



タイムアウトのエラーが出た場合は、次のことを確認してください。

- ・エコパワーメータの更新準備ができていないか
- ・USB ケーブルが正しく接続されているか(KW2G の場合)
- ・RS485 のケーブルが正しく接続されているか(KW1M-R の場合)
- ・通信設定、タイムアウト値は合っているか



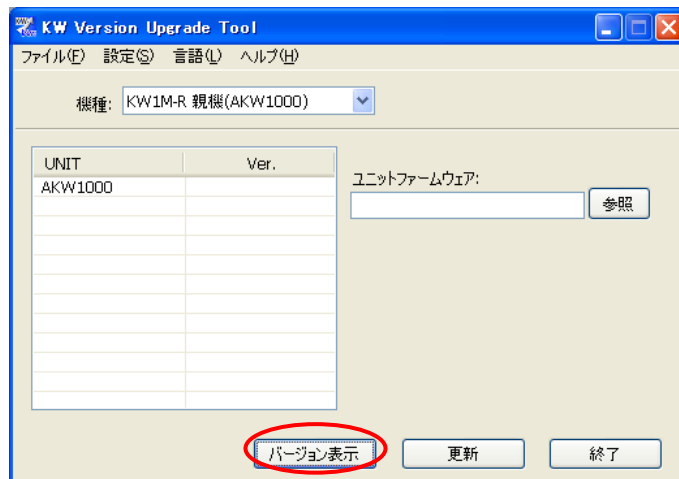
バージョンアップを失敗した場合は、ファームウェア更新手順の初めから行ってください。



ポイント

KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000)のバージョン確認方法

- 1) 本体の電源を入れ「バージョン表示」ボタンをクリックして下さい。



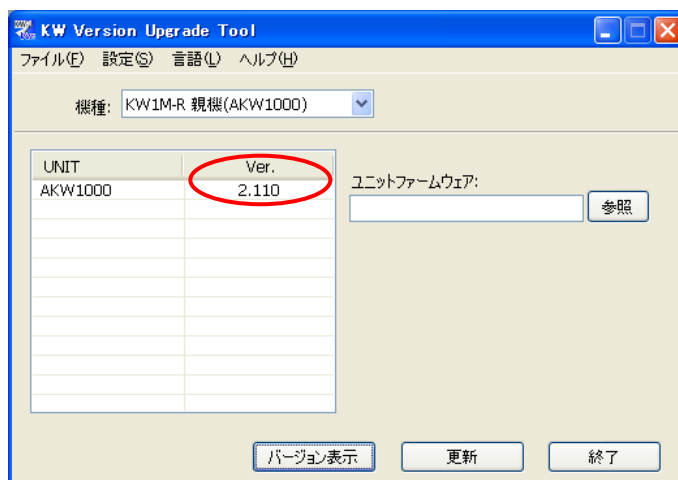
- 2) 下記の画面が表示されたら、表示に従って、<MODE>キー、<SHIFT/▼>キー、<ITEM/▲>キーの3つを同時押ししながら、電源を入れ直してください。



確認画面が表示されますので、KW1M-R 画面が「PROG」と表示されていることを確認し、「はい」をクリックしてください。



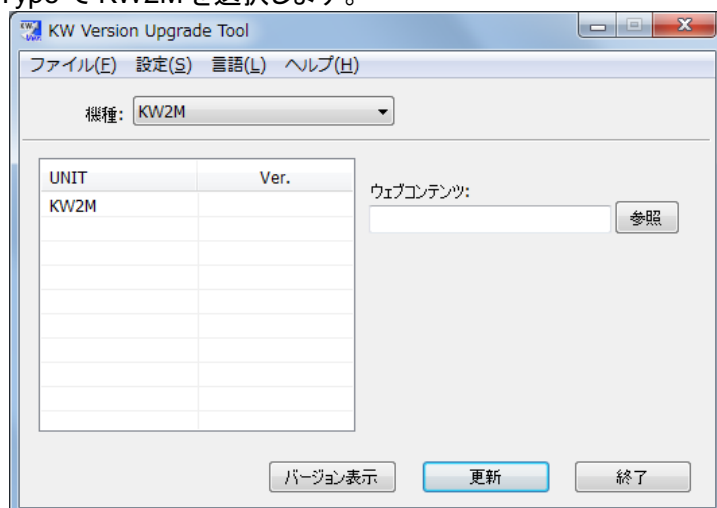
- 3) 本体のバージョンが表示されます



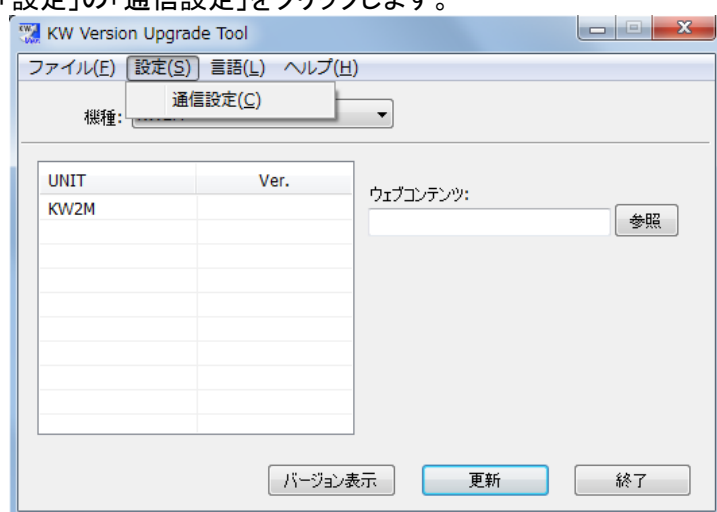
5章 Web コンテンツ更新手順

KW2M エコパワーメータの System Web のコンテンツを下記手順にて更新します。

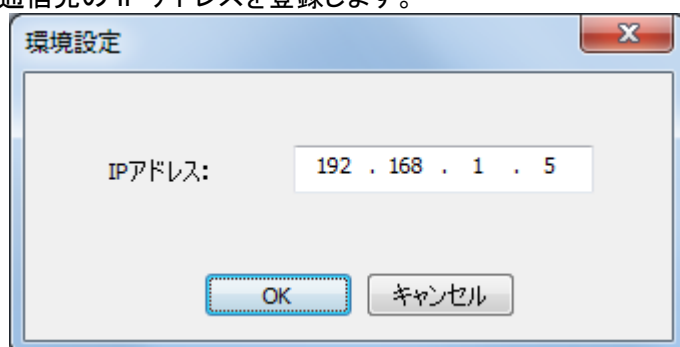
1)Type で KW2M を選択します。



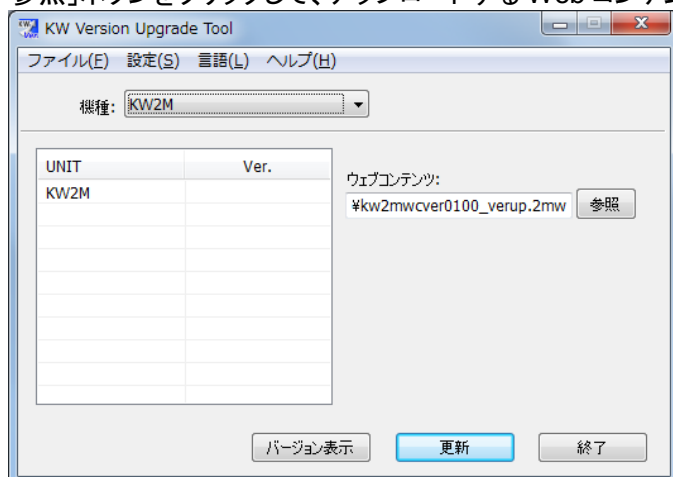
2)「設定」の「通信設定」をクリックします。



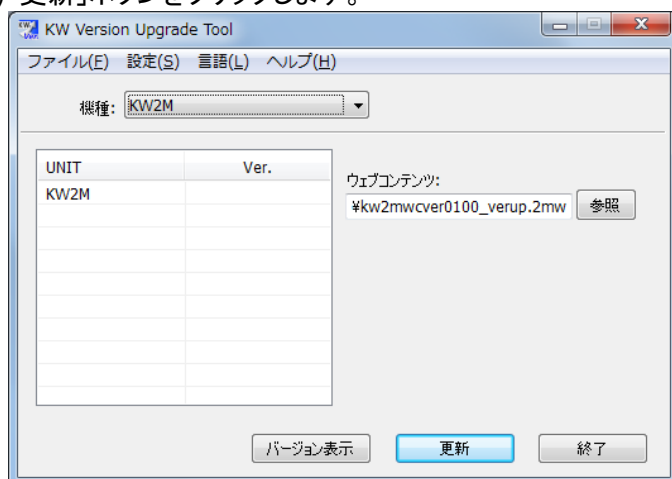
3)通信先の IP アドレスを登録します。



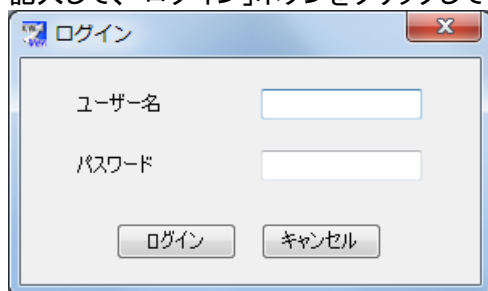
4)「参照」ボタンをクリックして、アップロードする Web コンテンツを選択します。



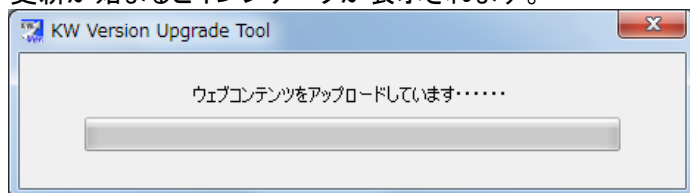
5)「更新」ボタンをクリックします。



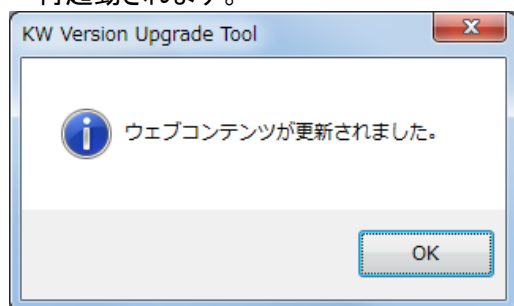
6) ログイン画面が表示されますので、Web コンテンツにログインするときの「ユーザ名」、「パスワード」を記入して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。



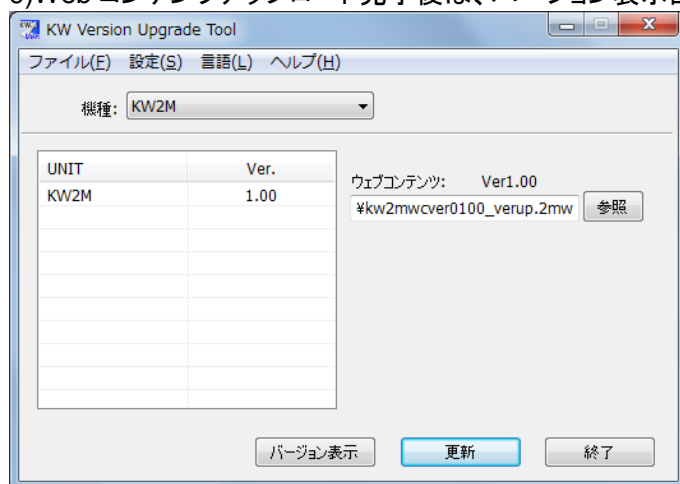
7) 更新が始まるとインジケータが表示されます。



- 8) Web コンテンツの更新が完了すると、アップロード完了画面が表示され、エコパワーメータが自動的に再起動されます。



- 9) Web コンテンツアップロード完了後は、バージョン表示部分にアップロードしたバージョンが表示されます。



6章 その他

6.1 動作環境

OS	Windows 8 / 8.1 / 10
必要ハードディスク容量	10MB 以上
推奨 CPU	Celeron 1.33GHz 以上
推奨搭載メモリ	256MB 以上
推奨画面解像度	800×600px 以上
推奨表示色	HighColor (16 ビット)以上
対象機種	KW2G エコパワーメータ KW2G-H エコパワーメータ KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000) KW9M エコパワーメータ KW2M エコパワーメータ

6.2 使用上のご注意

このソフトウェアの仕様及び、マニュアルの記載内容は将来予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

Microsoft Windows, Windows 8, 8.1, 10 は、Microsoft 社の米国およびその他の国での登録商標です。

改訂履歴

発行日付	導入ガイド番号	改訂内容
2011 年 5 月	ARCT1F521	初版
2011 年 9 月	ARCT1F521-1	2 版 [仕様追加] KW1M-R エコパワーメータ親機(AKW1000)について 説明追加
2012 年 10 月	ARCT1F521-2	3 版 [仕様追加] KW2G の仕様追加に合わせ、画面表示例を変更 64 ビット版 OS に対応
2013 年 4 月	ARCT1F521-3	4 版 [仕様追加] KW9M エコパワーメータについて説明追加
2013 年 8 月	ARCT1F521-4	5 版 [仕様追加] KW9M エコパワーメータの RS485 通信からファームウェア更新 について説明追加
2014 年 1 月	ARCT1F521-5	6 版 Windows 8 に対応
2018 年 1 月	ARCT1F521-6	7 版 KW2M エコパワーメータの System Web のコンテンツの更新に ついて説明追加
2021 年 3 月	ARCT1F521-7	8 版 免責事項追加 Windows XP / Vista / 7 を動作環境 OS から削除

●在庫・納期・価格など、販売に関するお問い合わせは

●技術に関するお問い合わせは

コールセンタ・フリーダイヤル

TEL 0120-394-205 FAX 0120-336-394

※サービス時間／9:00～17:00（12:00～13:00、当社休業日を除く）

Webでのお問い合わせ panasonic.net/id/pidsx

パナソニック デバイスSUNX株式会社

パナソニック デバイスSUNX 竜野株式会社

〒679-4123 兵庫県たつの市龍野町片山300番地

© Panasonic Industrial Devices SUNX Co., Ltd. 2021

本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このマニュアルの記載内容は2021年3月現在のものです。

ARCT1F521-7